

1 障害をもつ人への理解

ただいまの <sup>かねこ</sup>金子 <sup>りな</sup>莉奈 議員のご質問にお答え申し上げます。

障害をもつ人への理解について、であります。市内の小学校や中学校の多くは、沼田市社会福祉協議会による福祉講演会・点字教室・手話教室・車いす体験学習・高齢者疑似体験など、総合的な学習の中で障害者の福祉に関する学びを取り入れています。また、沼田特別支援学校との交流を通じ、お互いに理解を深めたり親睦を図っている学校もあります。中学生では、就労体験の一環として福祉職場での仕事体験もしています。

沼田市社会福祉協議会では、手話奉仕員、点訳奉仕員、朗読奉仕員、福祉教育サポーターを養成するための講座等を実施しています。

民間団体では、ひまわりの会が主催する「友情列車を走らせる」という名前の貸切団体列車で、障害のある人、高齢者、子ども、ボランティア、一般の方たちで旅行して、親睦を深める事業が実施されたり、

ごったく祭り実行委員会と市ボランティア協議会共催のごったくまつり・ボランティアフェスタも開催しています。

今月、市内にオープンした民間障害者複合施設では、病気や障害の有無にかかわらず、あらゆる世代の人たちが交流できる施設となっています。

このように、障害について、あるいは障害者について、学ぶ機会やふれあう機会は数多くありますので、積極的に参加・体験していただき、障害者に対する理解を深めていって欲しいと思います。

以上申し上げます、<sup>かねこ</sup>金子<sup>りな</sup>莉奈 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。